

くれしん景気動向調査

2025年10～12月期



くれしんオリジナルキャラクター
れもネコ

ご案内

「くれしん景気動向調査」は、経営者の皆さまに最新の地元の景気情報を提供することを目的としています。この景気動向調査は次のような特色を持っています。

- ① 製造業、卸売業、小売業、建設業、不動産業、サービス業の6業種について景気の動きを調査しています。
- ② ご協力いただいている調査先は325社に及び、調査対象地域は呉市を中心とする当金庫営業店所在地です。
- ③ 3か月ごとに最新の動きをまとめています。
- ④ 各回特別のテーマを設け「特別調査」を加えています。今回のテーマは「2026年(令和8年)の経営見通し」です。

調査概要

1. 調査時期 2025年12月上旬
(毎四半期実施)
2. 調査内容 2025年7～9月と比較した
2025年10～12月の実績と
2025年10～12月と比較した
2026年1～3月の見通し
3. 調査方法 調査員による聴き取り調査
4. 調査対象企業数 当金庫のお取引先325社
5. 回答企業数 324社
6. 回答率 99%
7. 回答企業内訳 下表の通り

DIについて

DI (ディフュージョン・インデックス) とは、景気の動いている方向を判断するために用いられる指標で、「増加 (または上昇・余裕があるなど)」という回答数から「減少 (または下降・苦しいなど)」という回答数を差し引いたものをいいます。

例えば、売上額について回答全数が100で、このうち「増加」回答が合計40あり、一方で「減少」回答が合計30あったとすれば、DIは+10ポイントとなります。

従業者規模別	計	製造業	卸売業	小売業	建設業	不動産業	サービス業(※)
1～ 4人	113	32	7	33	18	10	13
5～ 9人	56	22	6	4	14	2	8
10～ 19人	50	25	3	5	10	1	6
20～ 29人	26	15	3	2	4	0	2
30～ 39人	25	9	4	7	2	0	3
40～ 49人	9	3	1	0	1	0	4
50～ 99人	21	9	2	5	2	0	3
100～	24	15	1	1	2	0	5
	324	130	27	57	53	13	44

※運輸業・郵便業を含んでいます。

2025年10～12月期の当地企業の業況判断は、製造業、非製造業ともに小幅後退。
来期（2026年1～3月期）は、製造業は横這い、非製造業は小幅改善の見通し。

概況

●2025年10～12月期の業況

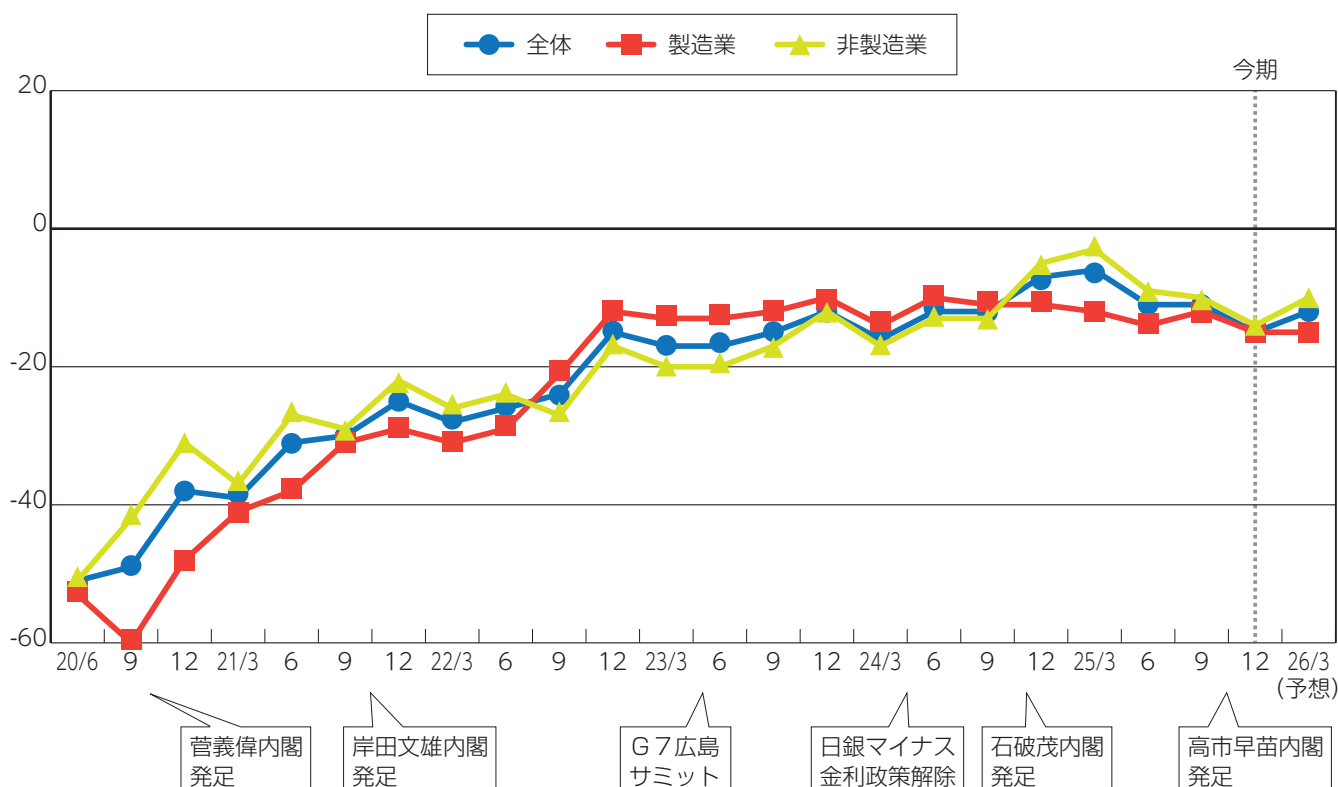
当地企業の今期の業況判断DIは、全体で△14.5と前期比△3.4ポイントの小幅後退となりました。製造業・非製造業別にみると、製造業は△14.6と前期比△2.4ポイントの小幅後退、非製造業は△14.4と前期比△4.0ポイントの小幅後退となっています。

●2026年1～3月期の業況見通し

来期は、全体で△12.0と今期比2.5ポイントの小幅改善の見通しです。製造業・非製造業別にみると、製造業は△14.6と今期比横這い、非製造業は△10.3と今期比4.1ポイントの小幅改善を見込んでいます。

	前期	今期（10～12月）			来期予想	
	（7～9月）	（カッコ内は前期の予想）	前期比	予想比	（1～3月）	今期比
全体（324社）	△ 11.1	△ 14.5（△ 7.4）	- 3.4	- 7.1	△ 12.0	+ 2.5
製造業（130社）	△ 12.2	△ 14.6（△ 9.9）	- 2.4	- 4.7	△ 14.6	+ 0.0
非製造業（194社）	△ 10.4	△ 14.4（△ 5.7）	- 4.0	- 8.7	△ 10.3	+ 4.1

業況判断DIの推移



⑧ 業種別業況判断D I

業種別の業況判断をみると、**製造業では**「食料品」が前期比大幅改善となりましたが、「一般機械器具」「自動車」「その他」が後退となっています。**非製造業では**「卸売業」「不動産業」が前期比大幅後退となっています。

来期の見通しについては、**製造業では**「自動車」「その他」が今期比改善を見込む一方で、「船舶」が大幅後退を見込んでいます。**非製造業では**「卸売業」が今期比改善を見込んでいます。

【業種別業況判断D I一覧表】

業 種	有 効 回答数	業況判断 (D I) の推移			判 断			
		前 期	今 期	来期予想	今 期		来 期	
		7~9月	10~12月	1~3月	前 期	傾 向	今 期	傾 向
全 体	324	△11.1	△14.5	△12.0	小幅後退		小幅改善	
製造業	130	△12.2	△14.6	△14.6	小幅後退		横 這 い	
食料品	17	△17.6	5.9	0.0	大幅改善		小幅後退	
金属製品	36	△14.3	△8.3	△13.9	小幅改善		小幅後退	
一般機械器具	21	△4.8	△19.0	△19.0	後 退		横 這 い	
輸送用機械器具	30	△19.4	△30.0	△30.0	後 退		横 這 い	
└うち船舶	12	0.0	0.0	△25.0	横 這 い		大幅後退	
└うち自動車	18	△33.3	△50.0	△33.3	後 退		改 善	
その他	26	△3.7	△15.4	△3.8	後 退		改 善	
非製造業	194	△10.4	△14.4	△10.3	小幅後退		小幅改善	
卸売業	27	3.8	△18.5	0.0	大幅後退		改 善	
小売業	57	△39.3	△33.3	△28.1	小幅改善		小幅改善	
建設業	53	1.9	△3.8	△5.7	小幅後退		小幅後退	
不動産業	13	15.4	△15.4	△15.4	大幅後退		横 這 い	
サービス業	44	△4.5	0.0	2.3	小幅改善		小幅改善	
個人消費関連								
食料品製造業 小売業・サービス業	118	△23.1	△15.3	△12.7	小幅改善		小幅改善	

増減±0…横這い 増減±1.0未満…ほぼ横這い ±10.0未満…小幅改善(後退) ±20.0未満…改善(後退) ±20.0以上…大幅改善(後退)

売上D I および収益D I

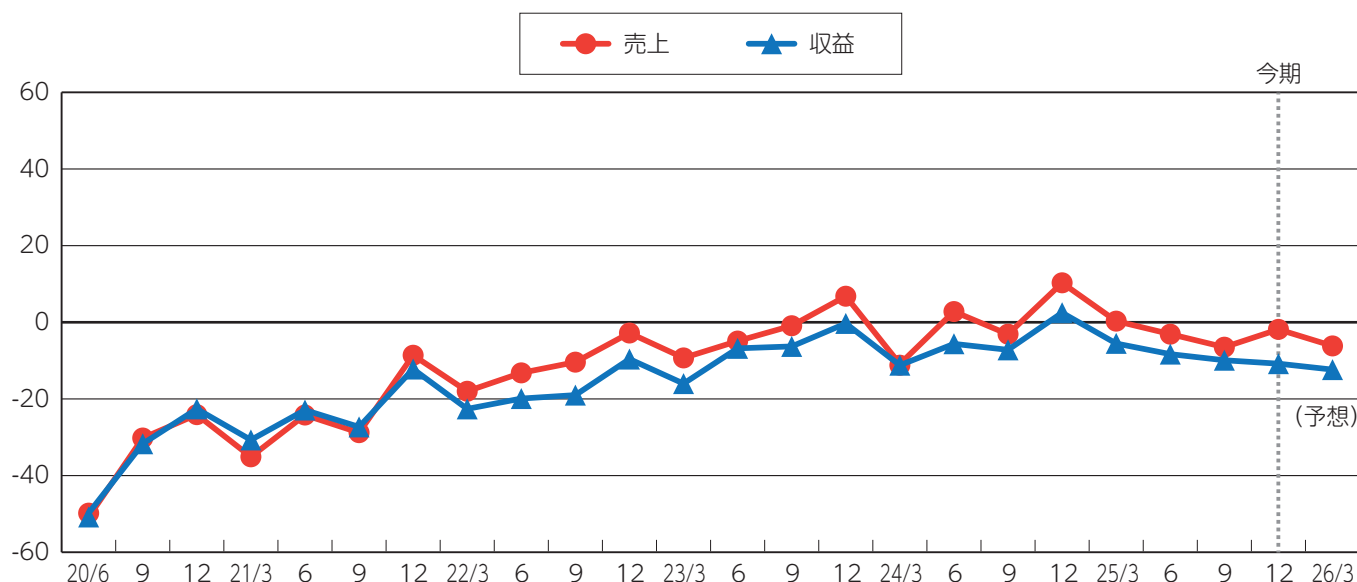
売上D Iと収益D I（「増加」「やや増加」－「減少」「やや減少」）をみると、全体では売上D Iが前期比小幅改善、収益D Iがほぼ横這いとなりました。業種別にみると、**製造業のうち「食料品」**は売上D Iが大幅改善、「船舶」は売上D I・収益D Iともに改善となりました。**非製造業のうち「小売業」**は売上D Iが大幅改善、「不動産業」は売上D I・収益D Iともに大幅後退となりました。

来期の見通しについて、全体では売上D I・収益D Iともに今期比小幅後退を見込んでいます。業種別にみると、**製造業のうち「食料品」**は売上D Iが大幅後退、収益D Iが後退、「船舶」は収益D Iが大幅後退を見込んでいます。**非製造業のうち「建設業」**は売上D Iが改善、「卸売業」は収益D Iが改善、「小売業」は売上D Iが大幅後退、収益D Iが後退を見込んでいます。

【業種別売上D Iおよび収益D I】

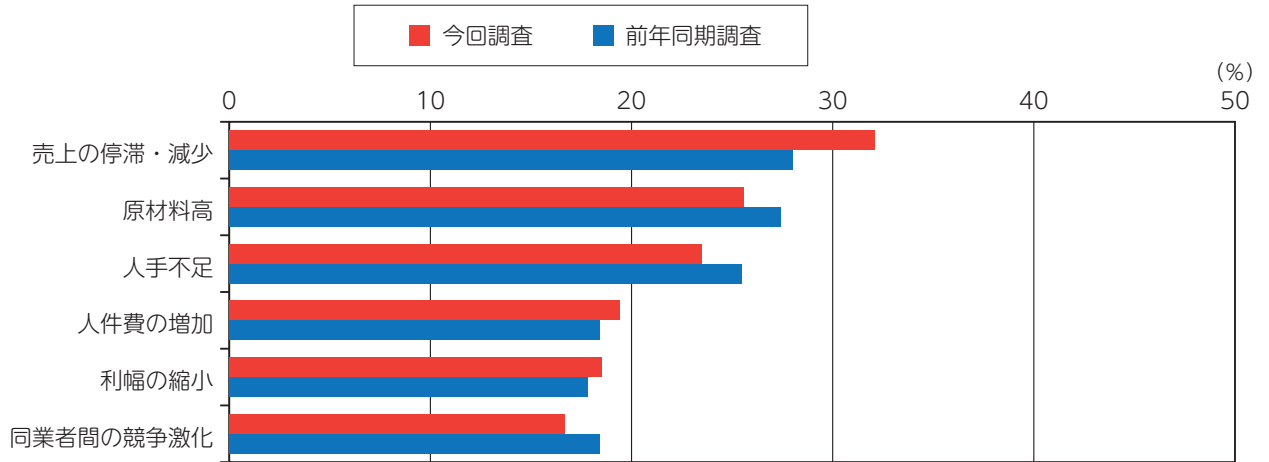
業 種	売上D Iの推移					収益D Iの推移				
	前 期 7～9月 実 績	今 期 10～12月実績見込 (前期比)		来 期 1～3月見通し (今期比)		前 期 7～9月 実 績	今 期 10～12月実績見込 (前期比)		来 期 1～3月見通し (今期比)	
全 体	△6.5	△1.9	(4.6)	△6.2	(-4.3)	△9.9	△10.8	(-0.9)	△12.3	(-1.5)
製造業	△5.3	△1.5	(3.8)	△9.2	(-7.7)	△10.7	△10.0	(0.7)	△15.4	(-5.4)
食料品	△5.9	29.4	(35.3)	5.9	(-23.5)	△5.9	△5.9	(0.0)	△17.6	(-11.7)
金属製品	8.6	0.0	(-8.6)	△13.9	(-13.9)	△2.9	0.0	(2.9)	△5.6	(-5.6)
一般機械器具	△4.8	△9.5	(-4.7)	0.0	(9.5)	△14.3	△14.3	(0.0)	△9.5	(4.8)
輸送用機械器具	△32.3	△16.7	(15.6)	△30.0	(-13.3)	△32.3	△23.3	(9.0)	△33.3	(-10.0)
└うち船舶	△23.1	△8.3	(14.8)	△16.7	(-8.4)	△15.4	0.0	(15.4)	△25.0	(-25.0)
└うち自動車	△38.9	△22.2	(16.7)	△38.9	(-16.7)	△44.4	△38.9	(5.5)	△38.9	(0.0)
その他	7.4	0.0	(-7.4)	3.8	(3.8)	3.7	△7.7	(-11.4)	△11.5	(-3.8)
非製造業	△7.3	△2.1	(5.2)	△4.1	(-2.0)	△9.4	△11.3	(-1.9)	△10.3	(1.0)
卸売業	△7.7	△3.7	(4.0)	3.7	(7.4)	△7.7	△18.5	(-10.8)	△7.4	(11.1)
小売業	△25.0	1.8	(26.8)	△19.3	(-21.1)	△21.4	△14.0	(7.4)	△24.6	(-10.6)
建設業	△3.8	△11.3	(-7.5)	3.8	(15.1)	△5.7	△13.2	(-7.5)	△3.8	(9.4)
不動産業	30.8	△7.7	(-38.5)	△7.7	(0.0)	7.7	△15.4	(-23.1)	△15.4	(0.0)
サービス業	0.0	6.8	(6.8)	2.3	(-4.5)	△4.5	0.0	(4.5)	0.0	(0.0)

売上・収益D Iの推移（全体）

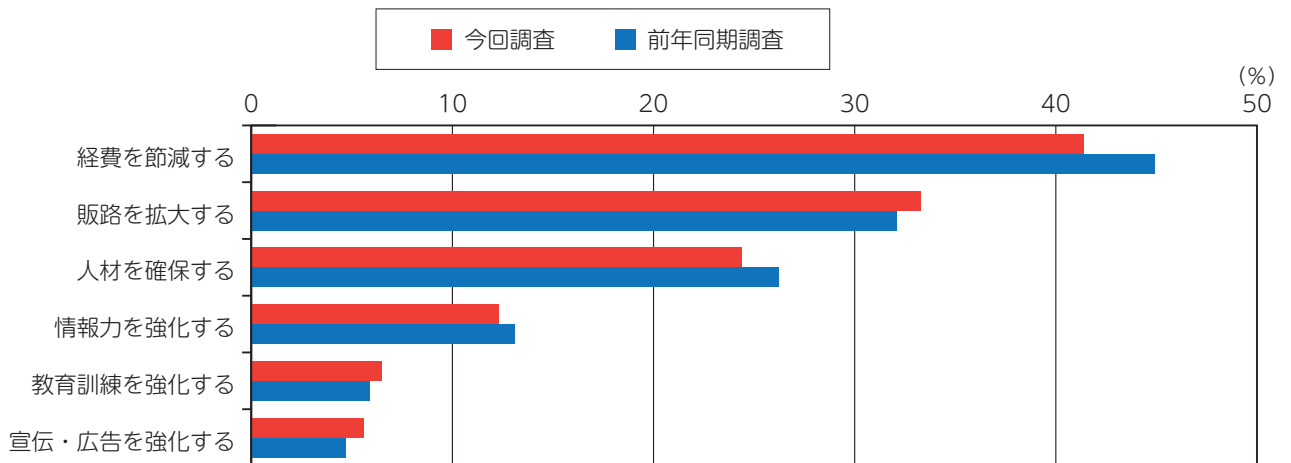


その他の調査結果

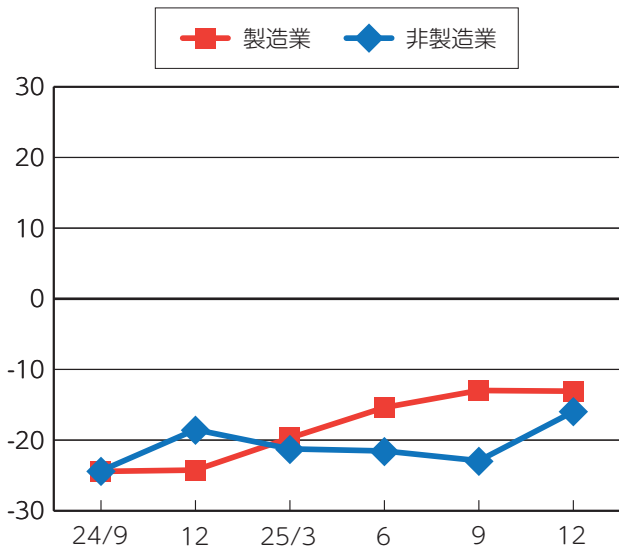
経営上の問題点 (全体)



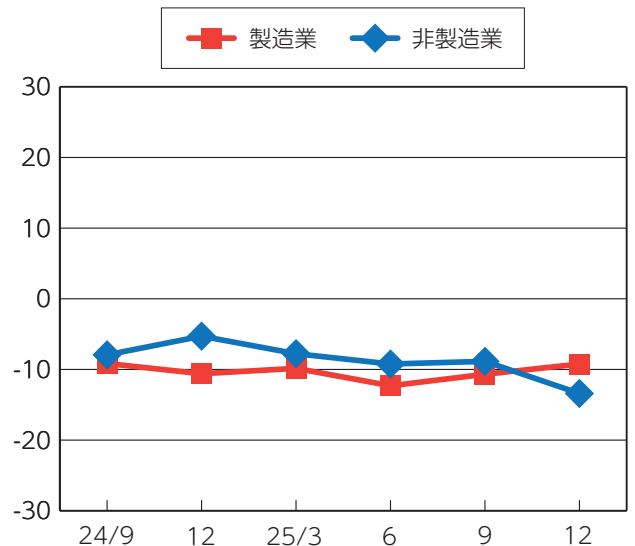
当面の重点経営施策 (全体)



人手の適正度D Iの推移 (過剰-不足)



資金繰りD Iの推移 (楽-苦しい)



調査員のコメント

● 製造業

- ・ 営業体制を強化しながら、新規取引先の獲得に注力している。(金属製品)
- ・ 製鉄技術を活かして、新規事業への参入を検討している。(金属製品)
- ・ 例年に比べて主要取引先からの受注が増加しており、業況は上向いている。(金属製品)
- ・ 従業員数の増加に伴い人件費が収益を圧迫しているため、経費全体の削減を検討している。(一般機械器具)
- ・ 業況は低調に推移している。主要取引先からの受注がストップしており、今後の受注確保に課題が残る。(船舶)
- ・ 受注単価の引上げにより売上は改善した。一方で原材料価格高騰の影響により大幅な収益改善には至っていない。(自動車)
- ・ 商品展を開催し知名度の向上や売上の増加を図っているものの、同業者との競争が激しく、厳しい状況が続いている。(その他)

● 非製造業

- ・ 近隣に同業者が少なく安定した販路を確保している。一方で物価高に伴い酒類の需要が低下している。(卸売業)
- ・ 来店客数が近年明らかに減少しており、商圏の人口減少および高齢化を感じている。(小売業)
- ・ 民間からの受注は回復傾向にある。一方で公共工事は同業者の参入が増加しており、落札が難しい。(建設業)
- ・ 建売事業をメインにしているが、一戸建て住宅の需要が低下しており、物件の売却完了まで時間を要している。(不動産業)
- ・ 新規設備の導入を検討中。導入後は業務の効率化により店頭での営業活動に注力できる見通しである。(サービス業)

経済指標 (呉市の統計)

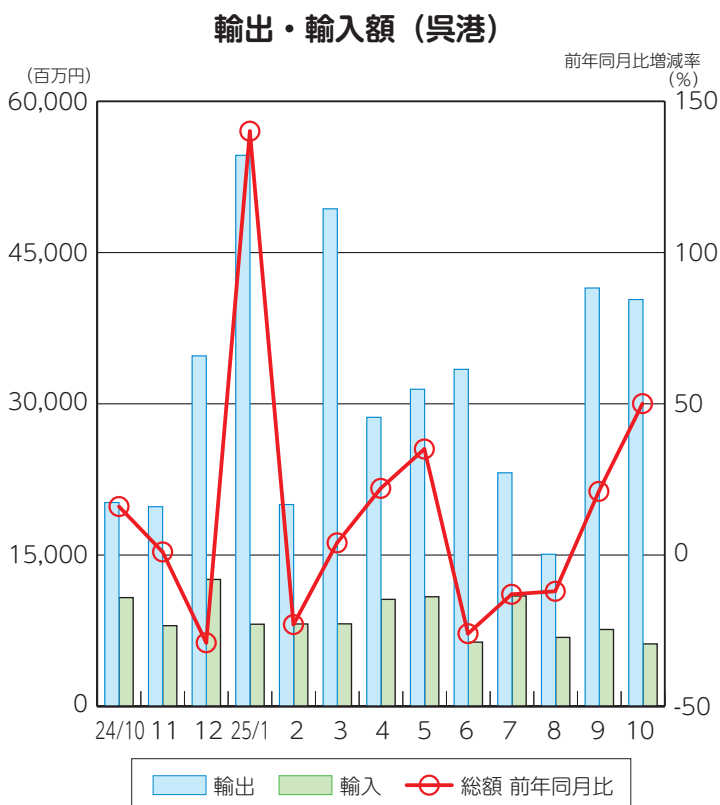
● 人口の動き (2025年11月末)

資料：呉市「世帯数と人口(町丁目)」による

区分	人口 (人)	前月比 増減 (人)	前年同月比	
			増減 (人)	増減率 (%)
中央	44,899	▲ 167	▲ 568	▲ 1.2
吉浦	8,930	▲ 12	▲ 263	▲ 2.9
警固屋	3,601	▲ 5	▲ 138	▲ 3.7
阿賀	13,272	▲ 26	▲ 378	▲ 2.8
広	42,025	▲ 23	▲ 715	▲ 1.7
仁方	5,552	▲ 10	▲ 150	▲ 2.6
宮原	6,186	▲ 6	▲ 145	▲ 2.3
天応	3,553	7	▲ 30	▲ 0.8
昭和	30,036	▲ 51	▲ 603	▲ 2.0
郷原	4,183	▲ 6	▲ 96	▲ 2.2
下蒲刈	1,088	▲ 1	▲ 45	▲ 4.0
川尻	7,216	▲ 13	▲ 155	▲ 2.1
音戸	9,758	▲ 43	▲ 323	▲ 3.2
倉橋	4,243	▲ 9	▲ 161	▲ 3.7
蒲刈	1,300	▲ 5	▲ 54	▲ 4.0
安浦	9,149	▲ 5	▲ 242	▲ 2.6
豊浜	994	▲ 5	▲ 71	▲ 6.7
豊	1,310	2	▲ 79	▲ 5.7
呉市計	197,295	▲ 378	▲ 4,216	▲ 2.1

● 輸出・輸入の動き (2025年10月末)

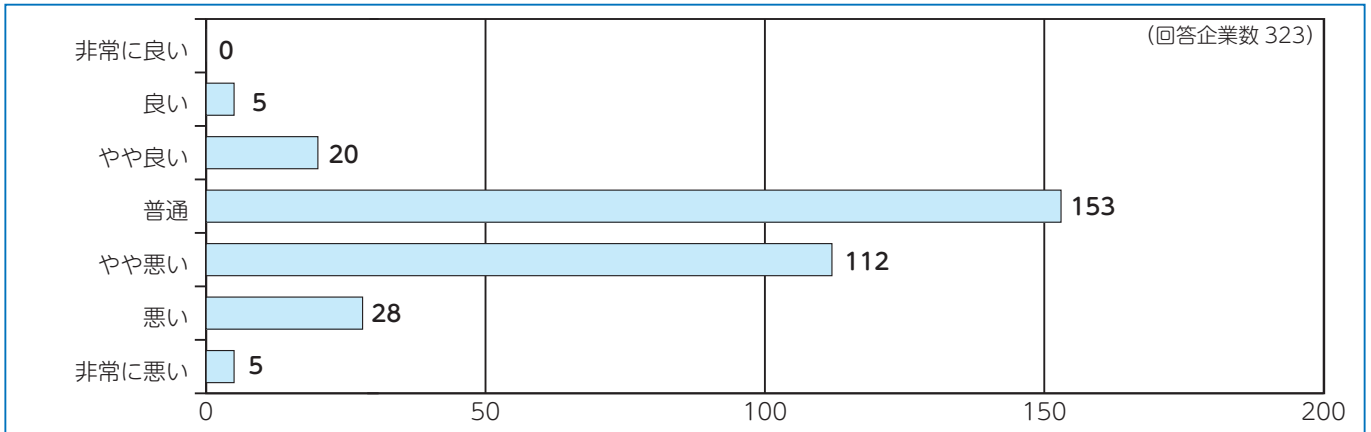
資料：神戸税関「管内地方港貿易概況」による



特別調査 2026年（令和8年）の経営見通し

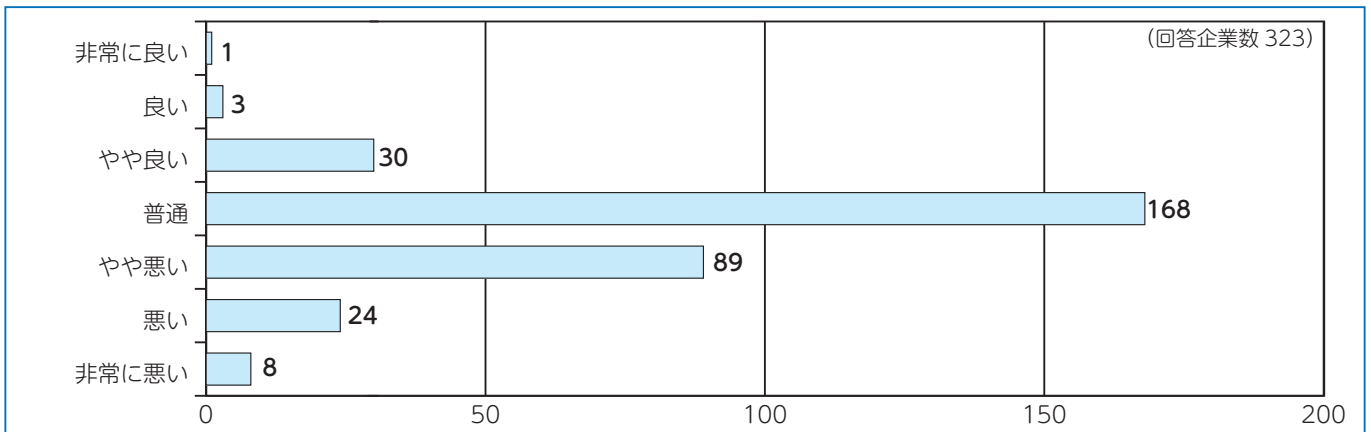
●2026年の日本の景気見通し

日本の景気見通しについて、「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」と回答した企業は計145社（45%）、一方で「良い」「やや良い」と回答した企業は計25社（8%）にとどまりました。「普通」と回答した企業は153社（47%）でした。



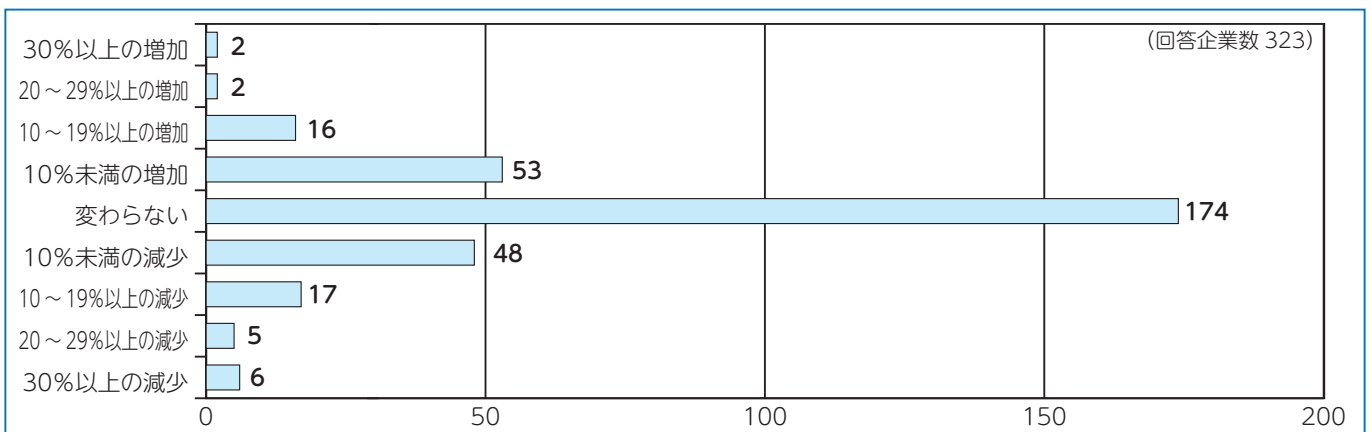
●2026年の自社の業況（景気）見通し

自社の業況見通しについて、「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」と回答した企業は計121社（37%）、一方で「非常に良い」「良い」「やや良い」と回答した企業は計34社（11%）にとどまりました。「普通」と回答した企業は168社（52%）でした。



●2026年における自社の売上額の伸び率の見通し

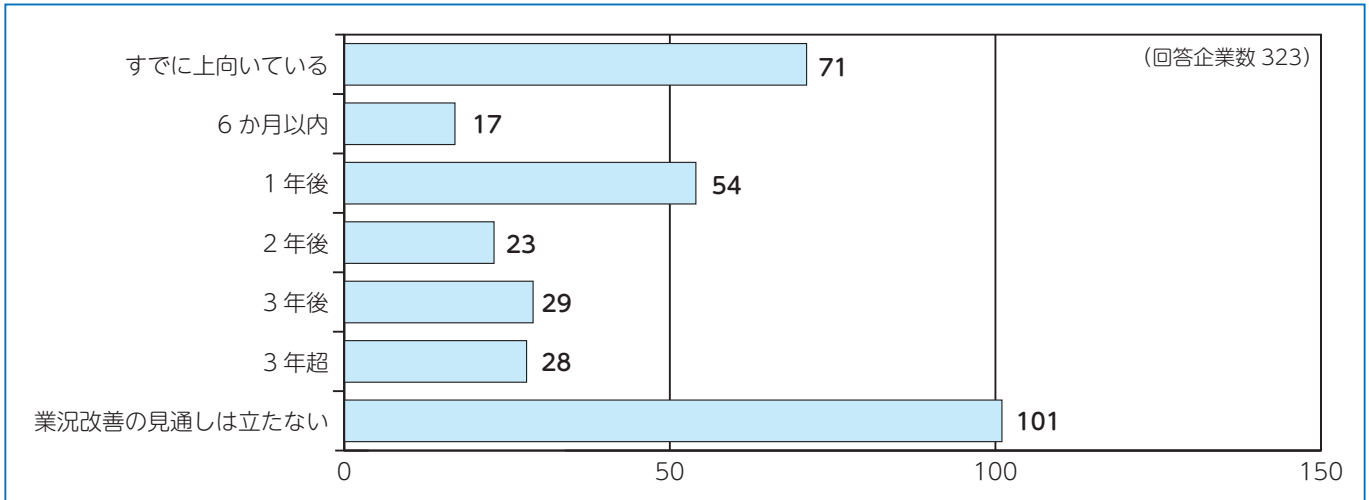
自社の売上額の伸び率の見通しについて、2025年に比べて「増加する」と回答した企業は計73社（23%）、「減少する」と回答した企業は計76社（23%）とほぼ同数でした。「変わらない」と回答した企業は174社（54%）でした。



特別調査 2026年（令和8年）の経営見通し

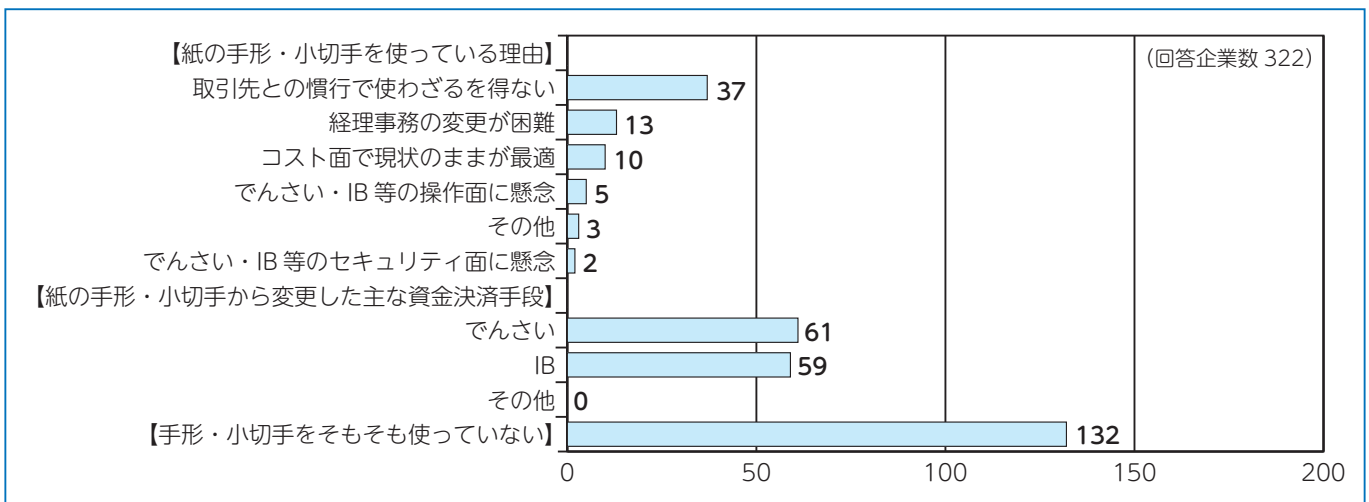
●自社の業況が上向く転換点の時期見通し

自社の業況が上向く転換点の時期見通しについて、「すでに上向いている」と回答した企業は71社（22%）、「6か月以内～1年後」と回答した企業は計71社（22%）、「2年後～3年超」と回答した企業は計80社（25%）でした。また、「業況改善の見通しは立たない」と回答した企業は101社（31%）でした。



●紙の手形・小切手の利用状況

紙の手形・小切手を使っていると回答した企業は計70社（22%）あり、その理由として最も多かったのは「取引先との慣行で使わざるを得ない」が37社でした。また、紙の手形・小切手を使っていたが終了した企業は計120社（37%）で、変更した主な資金決済手段は「でんさい」が61社、「インターネットバンキング（IB）」が59社とほぼ同数でした。「手形・小切手をそもそも使っていない」と回答した企業は132社（41%）でした。



くれしん景気動向調査（2025年10～12月期）

編集・発行

呉信用金庫 経営企画部

〒737-8686 広島県呉市本通2丁目2番15号 TEL 0823-25-6822

